

腹腔鏡下胆のう摘出術を受ける患者さんへ



患者名		様		主治医		担当看護師	
経過	入院前～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～	
日付	/	/		/	/		
患者の達成目標	- 手術の必要性を理解し同意している - 手術の準備が整っている	手術についての不安が軽減し、落ち着いている 	- 血圧などの全身状態が安定している - 創部痛、苦痛が早期に軽減できる	- 創痛が軽度で、歩行できる - 体温が37.5度以下である - 食事が術前の5割以上摂取できる - 血液検査で大きな異常がない	トイレ歩行ができる	ベッドから離れて過ごすことができる	
	治療処置	お臍の掃除をします	手術着に着替え、弾性ストッキングを着用します	- 痛みが強い時には痛み止めが使えますのでお知らせ下さい - 点滴があります	- 医師が創部の観察を行います - 必要に応じ、採血やレントゲンを行います - 食事が始まり、摂取量が安定すれば点滴は終了します 	3日目に採血の結果で問題がなければ退院日が決定します	
薬剤	- 普段使っている飲み薬、貼り薬、塗り薬をお持ちください（病院で同じものをすぐに用意できない場合があります） 21時に下剤を飲みます 	朝、必要な薬のみ内服します		医師の指示の下、常用薬が再開となります 			
食事	- 夕食まで食事ができます - 手術までの食事や水分については別途ご説明します	- 絶飲食です - 喉が渴いた時にはうがいができます 		医師の指示の下、水分・食事が開始となります	手術前の食事ができます 		
排泄	特に制限はありません	手術室に行く前にトイレを済ませておいてください	尿管が入っています	トイレに行けるようであれば尿管は抜去します	特に制限はありません		
安静活動	特に制限はありません		ベッド上安静です 	病棟内歩行可	特に制限はありません		
清潔	お臍の掃除が終わりましたらシャワー浴できます	シャワー浴はできません		看護師が身体を拭きます	お腹のチューブが無い場合は、シャワー浴できます		
患者家族への説明	- 担当医、麻酔医が手術、麻酔について説明し、同意書をお渡しします - 禁煙です - マニキュア、ジェルネイルは入院前に必ず落として下さい - 転倒、転落に注意して下さい（退院まで）  	眼鏡、コンタクトレンズなどの装飾品は外し、貴重品はご家族に預けて下さい 	手術終了後、医師より患者さんご家族へ説明があります	〈退院時指導〉 食事について： 脂っこい物を食べると下痢をすることがあります。はじめは少しずつ食べてください。 運動について： 術後1か月は重い物を持ちたり腹筋に強い力が加わる運動は避けてください。日常の買い物や散歩は、問題ありません。 清潔について： 手術から2週間経過して、創から浸出液がなければ入浴できます。ただし、創から浸出液が出る場合は、入浴は禁止です。その場合もシャワー浴はできます。			医師、看護師、薬剤師が退院後の生活やお薬に関する説明をします

※ この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により手術後の経過は様々です。この表より達成が遅れると治りが悪いということではありません。

※ ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。

2026年7月 改訂